



2020年3月16日

各位

会社名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役 佐藤 剛志

(コード番号：7073 東証マザーズ)

問合せ先 取締役経営企画本部長 谷中 拓生

(TEL. 03-5282-7608)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時 2020年3月16日 15:30～16:30

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券取引所
東証アローズ プレゼンテーションステージ
東京都中央区日本橋兜町2-1

説明会資料名 2020年1月期決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上



私たちは、変わる。

CHANGE PROMOTER.

JAIC 人と組織のチェンジ・プロモーター
ジェイック

2020年1月期 決算説明資料

JAIC

株式会社ジェイック

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 決算概要
4. 当社の強みと関連KPI
5. 業績予想と今期の取り組み
6. 新型コロナウイルスへの対応
7. 本資料の取り扱いについて

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 決算概要

4. 当社の強みと関連KPI

5. 業績予想と今期の取り組み

6. 新型コロナウイルスへの対応

7. 本資料の取り扱いについて

社 名	株式会社ジェイック			
代 表 者	代表取締役 佐藤 剛志			
設立年月日	1991年3月			
本社所在地	東京都千代田区神田神保町一丁目 1 0 1 番神保町 1 0 1ビル7階			
資 本 金	252,827,125（円）〔2020年1月末現在〕			
株 主 構 成	株式会社エンスー	500,000株（55.2%）		
	佐藤 剛志	114,500株（12.6%）、他		
役 員 構 成	代表取締役	佐藤 剛志	取締役(社外)	大谷 美一
	常務取締役	近藤 浩充	常勤監査役	古江 嘉之
	取締役	古庄 拓	非常勤監査役(社外)	近藤 直
	取締役	知見寺 直樹	非常勤監査役(社外)	神林 尚
	取締役	東宮 美樹		
	取締役	谷中 拓生		
事 業 内 容	カレッジ事業（教育研修、採用支援）			
従 業 員 数	207名〔2019年1月末現在〕			
拠 点	東京本社、新宿支店、池袋支店、横浜支店、仙台支店、名古屋支店、大阪支店、梅田支店、広島支店、福岡支店、海外現地法人（上海）〔2020年2月末現在〕			
総 資 産	2,084,076,579（円）〔2020年1月末現在〕			

ミッション

企業のホームドクター、人材のメンターとなり、
人と組織の限りない可能性に貢献し続ける。

ビジョン

「学ぶ楽しさ」「働く幸せ」「成長する喜び」に
満ちあふれた社会を実現する。

CHANGE
人と組織のチェンジ・プロモーター
PROMOTER.

**就職ポテンシャル層*を対象に、
採用と教育を融合させた人材育成紹介会社**

*就職ポテンシャル層：就職が一筋縄ではいかない求職者
フリーター・第二新卒・大学中退者・就活苦戦の大学4年生・留年生・留学生等

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 決算概要

4. 当社の強みと関連KPI

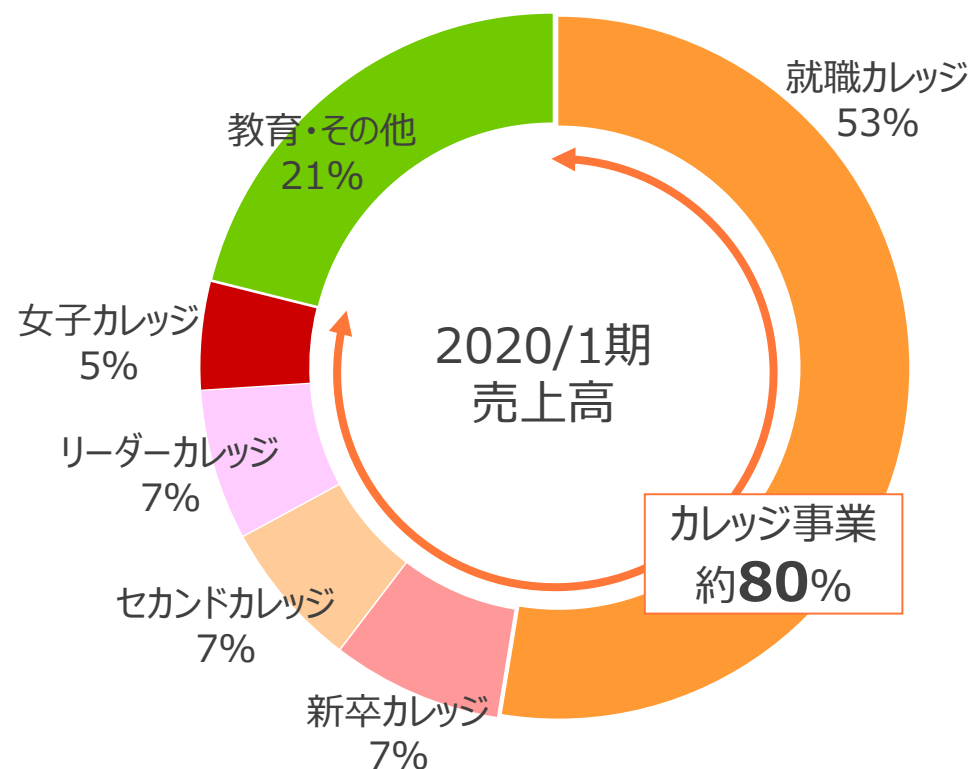
5. 業績予想と今期の取り組み

6. 新型コロナウイルスへの対応

7. 本資料の取り扱いについて

- 若手人材をトレーニングした後、企業に紹介する「カレッジ事業」を展開
- 対象は就職に苦戦しがちな「就職ポテンシャル層」に絞り込み
- その他、教育事業として企業向けのパッケージ研修や講師派遣、セミナーなどを開催

売上構成：サービス別



カレッジ事業

対象者等

就職カレッジ®

20代就職苦戦フリーター、第二新卒層

女子カレッジ®

上記の内、女性限定

セカンドカレッジ®

大学中退者

新卒カレッジ®

内定苦戦、部活動や公務員志望等で就活に出遅れた大学4年生

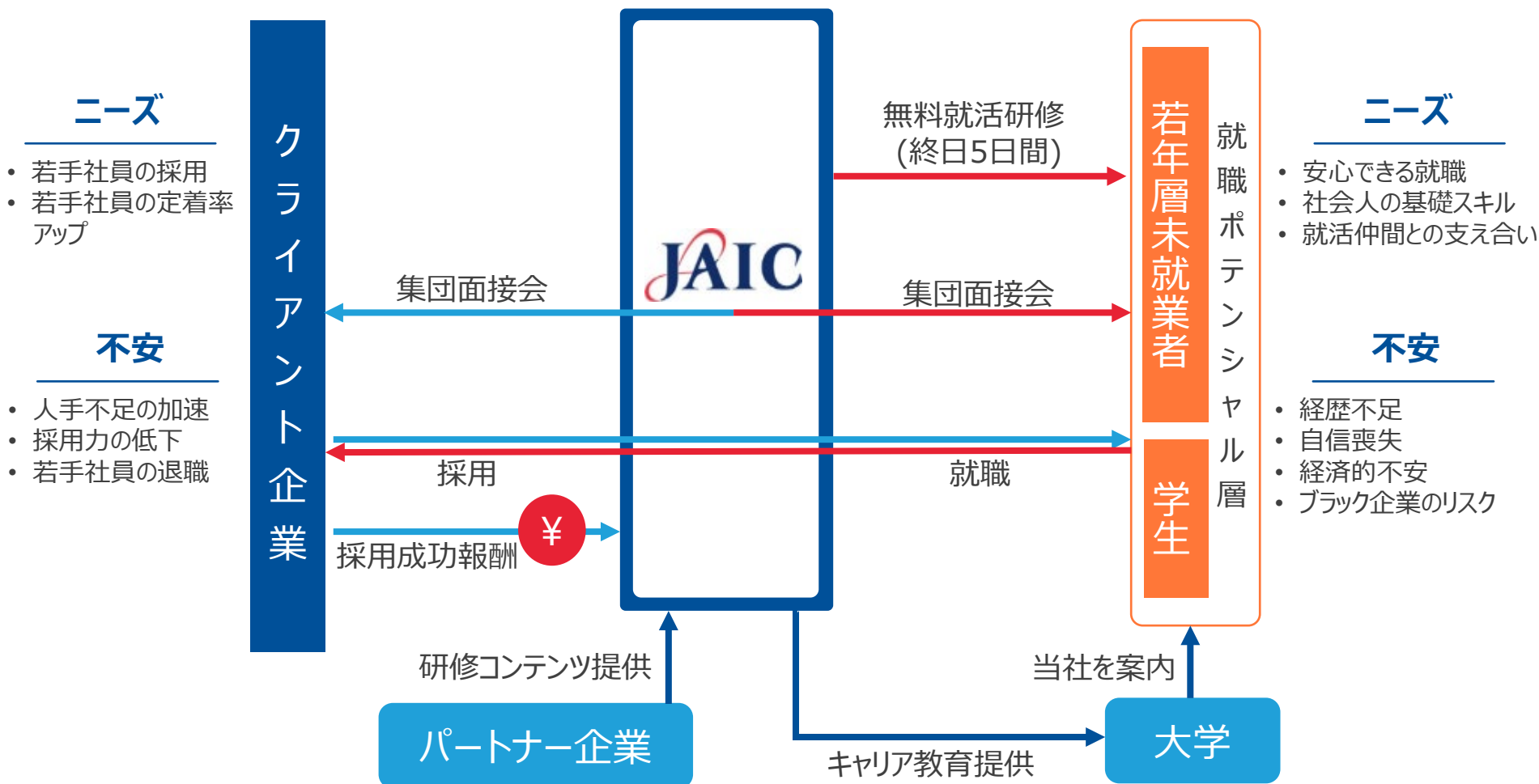
リーダーカレッジ*

採用される求職者の上司となる若手リーダーや次期リーダー層
*「エースカレッジ」(定着・活躍支援等)を含む

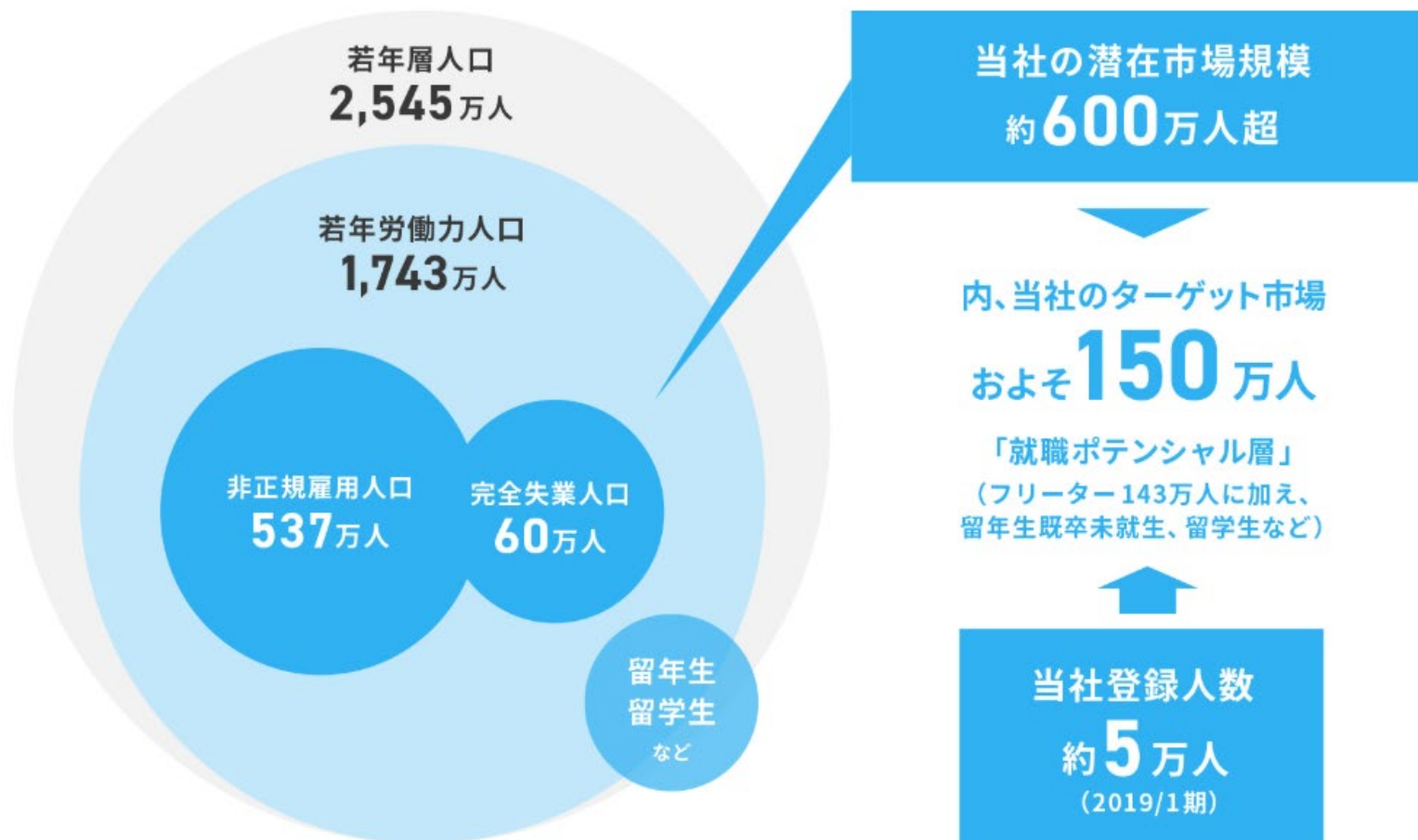
教育事業 その他事業

- ① 中堅中小企業向けパッケージ研修
- ② 若手層向け研修講師派遣
- ③ 当社で開催するオープンセミナー
- ④ ジェイックマイツ（上海）

- 就職ポテンシャル層を教育してから企業に紹介することで、企業の人材不足解消に貢献
就職ポテンシャル層には「人生の転機」を提供。採用成功時に企業から成功報酬をいただく
- ミスマッチが起こりがちな「中小企業」と「就職ポテンシャル層」のマッチングで、社会的価値を創出



- 主なターゲットは、若年未就業者（フリーター・中退者・早期離職者・留年学生等）約150万人
- 潜在市場規模は、若年層の非正規雇用人口と完全失業人口の合計約600万人



1. 会社概要

2. 事業内容

3. 決算概要

4. 当社の強みと関連KPI

5. 業績予想と今期の取り組み

6. 新型コロナウイルスへの対応

7. 本資料の取り扱いについて

- カレッジ事業が順調に伸長し、増収増益。ほぼ公表予想値どおりの着地
- SEO対策や支援対象年齢の引き上げ施策（29歳から34歳へ）などが寄与

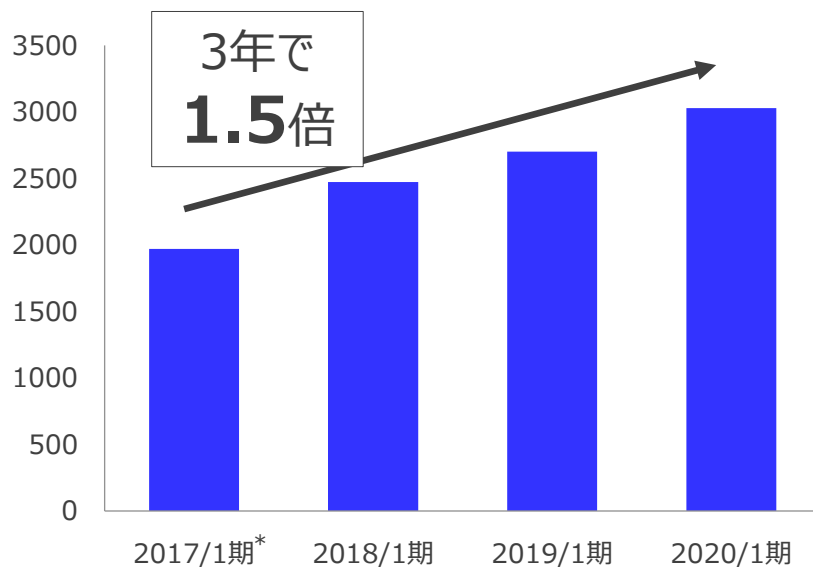
（単位：百万円）

	19/1期	20/1期	前期比	公表予想値	予想値比
売上高	2,702	3,030	+12.2%	3,113	-2.7%
営業利益	231	341	+47.2%	328	+4.0%
経常利益	221	333	+50.9%	320	+4.1%
当期純利益	173	213	+22.8%	212	+0.5%

- 売上高は、直近3年で1.5倍に。中退者支援の拡大や支店開設により堅実に成長
- 経常利益は、販促費効率改善やカレッジ卒業生の就職決定率アップ等により上昇

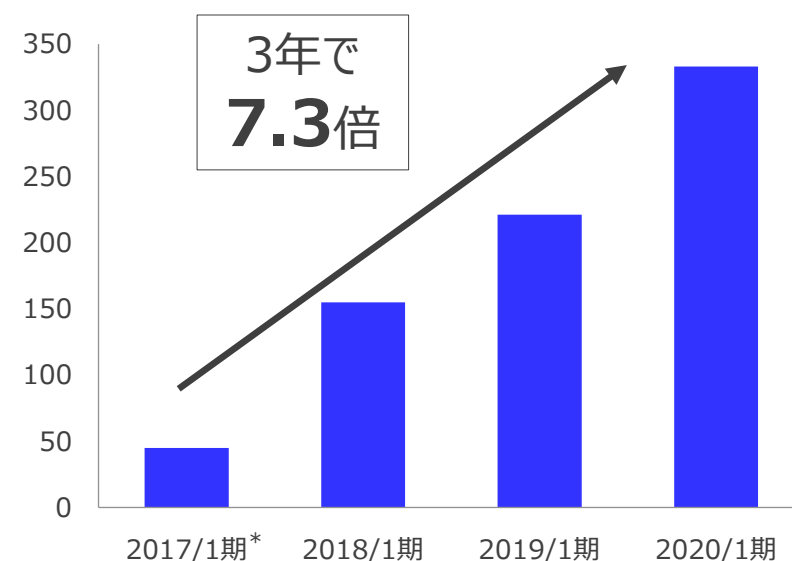
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）



* 2017/1期は単体決算

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益の計上等により384,801千円の獲得
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得等により222,997千円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により247,747千円の支出

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,338	384,801
税引前調整前当期純利益	218,796	335,565
減価償却費	34,648	46,776
売上債権の増減額（△は増加）	△30,973	△17,479
未払金の増減額（△は減少）	△18,247	△17,474
前受金の増減額（△は減少）	4,852	△8,985
その他	△56,738	46,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,624	△222,997
有形固定資産の取得による支出	△9,022	△49,474
無形固定資産の取得による支出	△23,500	△110,000
差入保証金の差入による支出	△11,428	△23,885
その他	△44,674	△39,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,395	△247,747
株式の発行による収入	-	444,066
長期借入金の返済による支出	△276,438	△747,595
その他	303,833	55,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△512	114
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	90,596	△85,828
現金及び現金同等物の期首残高	1,157,245	1,247,841
現金及び現金同等物の期末残高	1,247,841	1,162,012

- 長期借入金の減少により、固定負債が522,613千円減少
- 新株の発行等により、純資産は前期末と比べて619,546千円増加

(単位：千円)

資産	19/1期	20/1期	増減額
流動資産	1,576,837	1,408,457	-168,380
現金及び預金	1,247,841	1,162,012	-85,829
売掛金	159,777	177,257	+17,479
未収還付法人税等	84,805	-	-84,805
その他	84,414	69,188	-15,225
固定資産	611,215	671,847	+60,631
有形固定資産	65,579	67,475	+1,896
無形固定資産	143,821	149,120	+5,299
投資その他の資産	401,814	455,251	+53,436
資産合計	2,188,052	2,080,304	-107,748

負債及び純資産	19/1期	20/1期	増減額
流動負債	846,085	641,402	-204,682
1年内返済予定の 長期借入金	271,008	144,456	-126,552
未払金	199,176	72,152	-127,024
未払法人税等	72,578	95,005	+22,426
その他	303,323	329,789	+26,467
固定負債	933,934	411,321	-522,613
負債合計	1,780,019	1,052,724	-727,295
純資産合計	408,033	1,027,579	+619,546
負債純資産合計	2,188,052	2,080,304	-107,748

1. 会社概要

2. 事業内容

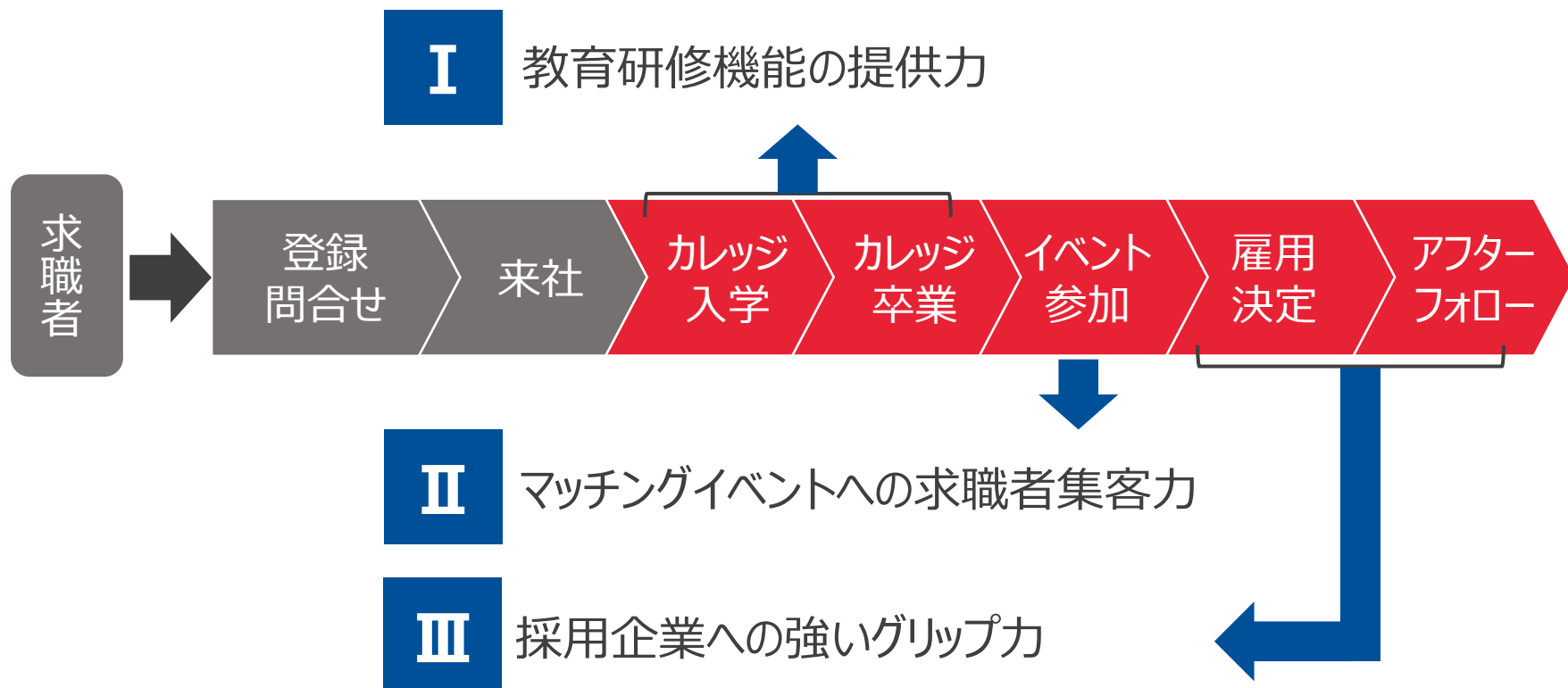
3. 決算概要

4. 当社の強みと関連KPI

5. 業績予想と今期の取り組み

6. 新型コロナウイルスへの対応

7. 本資料の取り扱いについて



I 5日間の就活研修



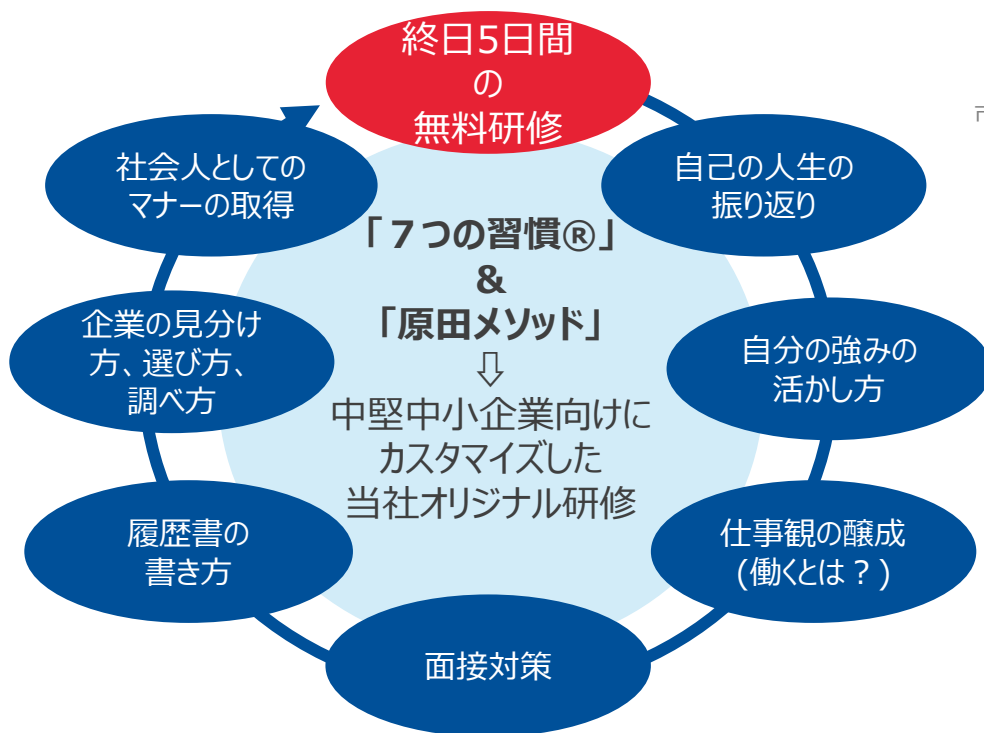
II 集団面接会



III 企業への継続的な価値提供

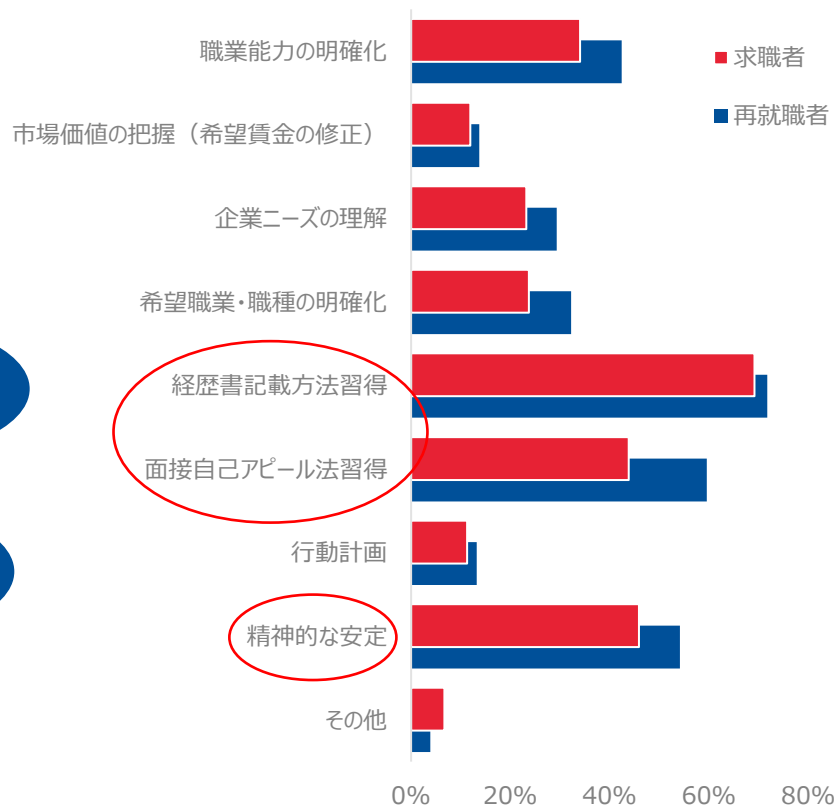
- 求職者は無料で社会人としての基本スキルの習得が可能。これは人材紹介の武器ともなる
- 企業は研修負担の軽減に直結。人材紹介会社における当社の差別化ポイント

当社カレッジ事業の主な研修メニュー



カレッジ生との絆や信頼関係を構築

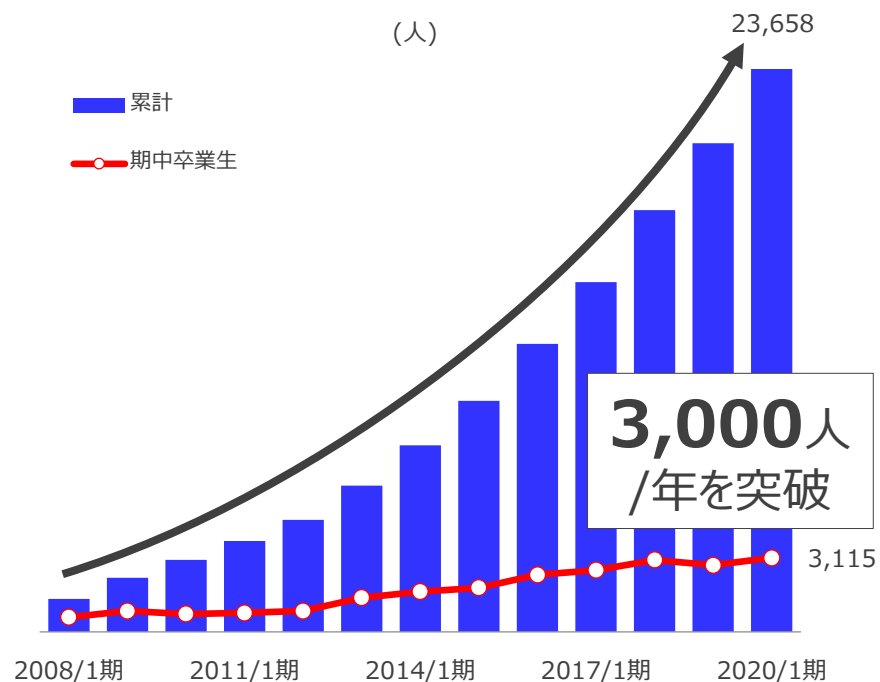
役に立った職業相談/カウンセリング内容



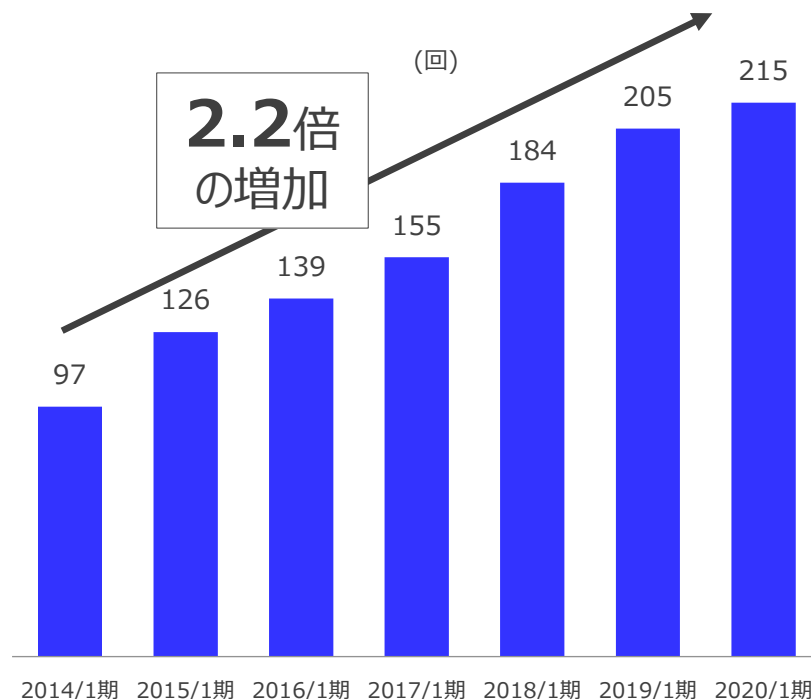
複数回答。再就職者n=205、求職者n=194。
 (出所) 労働政策研究・研修機構「長期失業者の求職活動と再就職状況」
 (平成27年 1月30日)

- 2020/1期、イベント集客対象となるカレッジ卒業生が初めて年間3,000人を突破
- カレッジ卒業生は人的ネットワークが成立済みであり、イベント参加への心理的ハードルは低い
- 支店開設や中退者支援の拡大等により、イベント開催数は過去6年で2倍超に

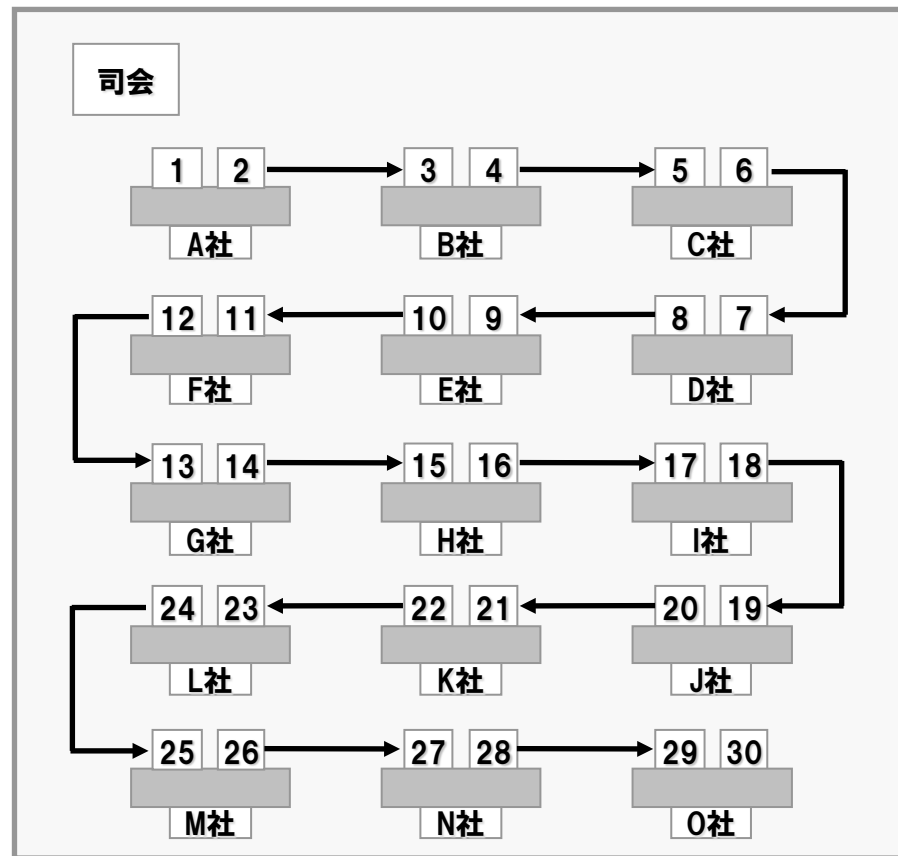
カレッジ卒業生



カレッジイベント開催数の推移

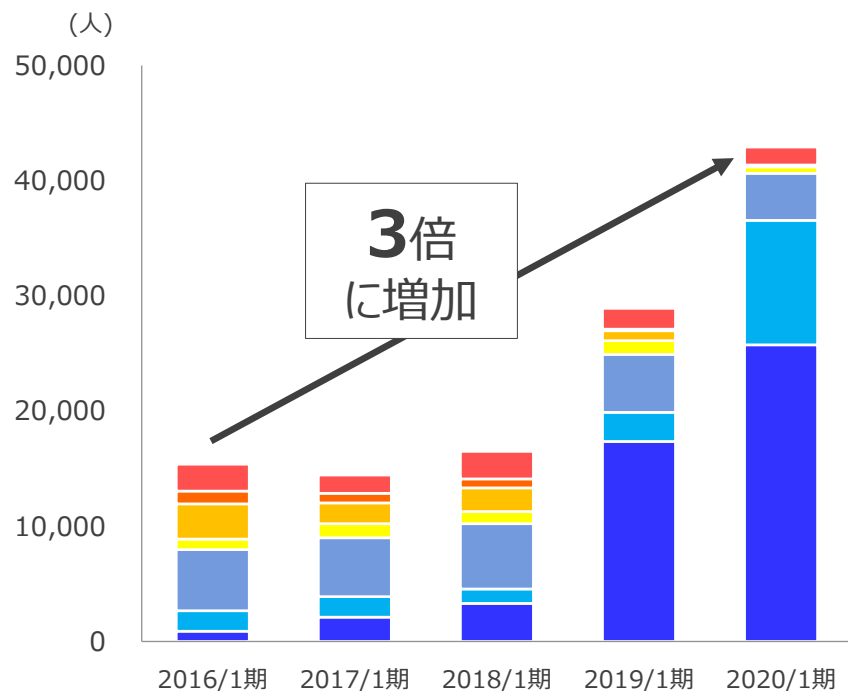


- 集団面接会は、企業約20社と求職者約20名で実施。ローテーションの総当たり方式
- 参加企業は求職者全員と一度に面接できるため、適性・相性の比較検討が可能

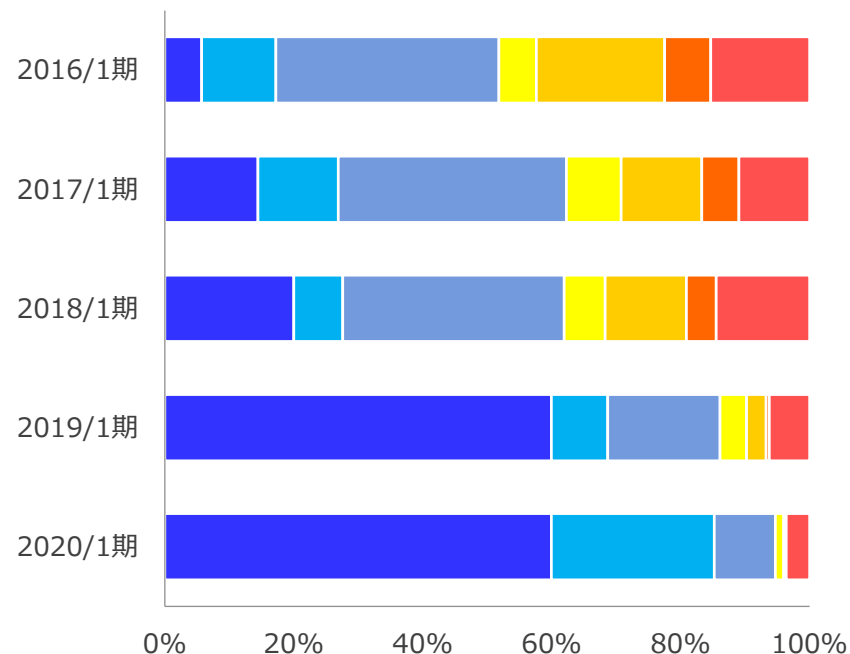


- イベント参加者との最初の接点である「登録」数は、直近4年で約3倍に増加
- 以前は求人媒体や就職フェアなど他社に依存するものが半分を占めていたが、自社で成長・拡大させやすい経路（チャネル）のみにシフト。これが奏功した

登録数の推移



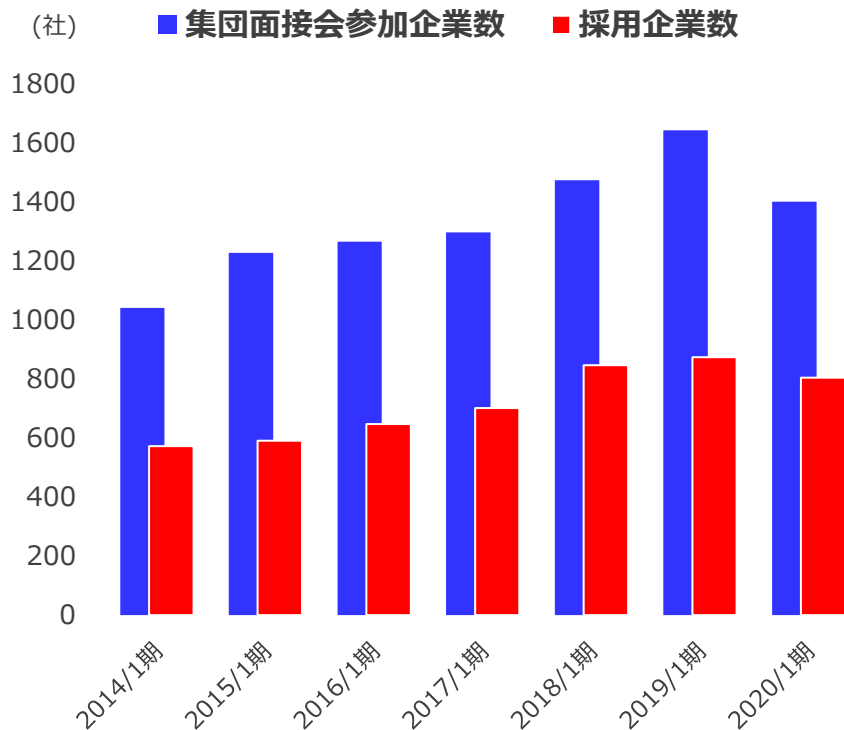
登録経路（チャネル）の割合の推移



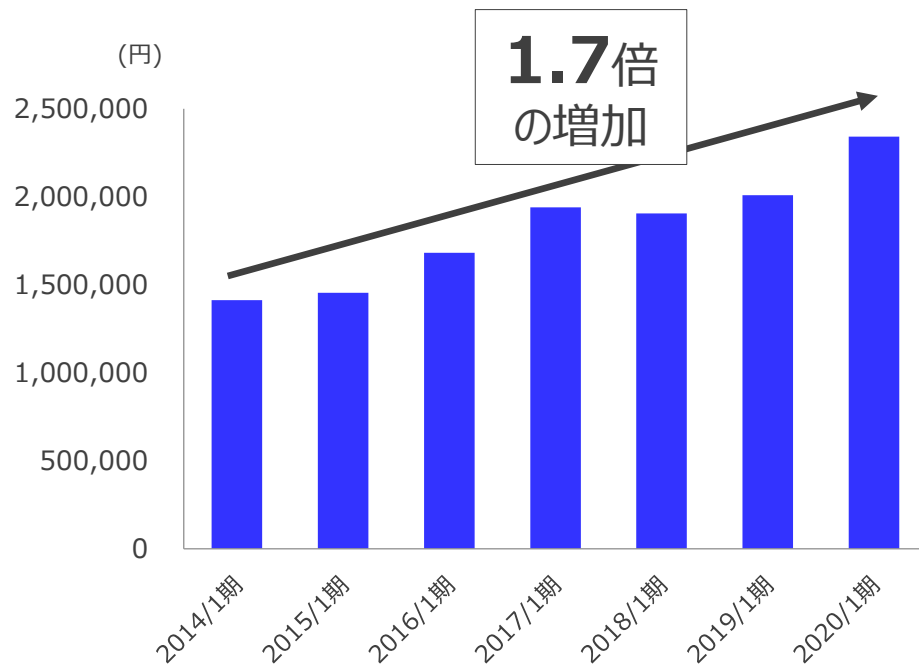
■ アフィリエイト
 ■ 自然検索/SEO
 ■ リスティング
 ■ メルマガ
 ■ 求人媒体
 ■ 就職フェア
 ■ その他

- 集団面接会参加企業数、採用企業数は前期から減少
- 一方で 1 社あたりの人材紹介報酬は上昇しており、生産性は向上
- 今期は ①企業向け新メディア ②MA（マーケティングオートメーション）の立ち上げを予定

集団面接会参加企業数と採用企業数の推移

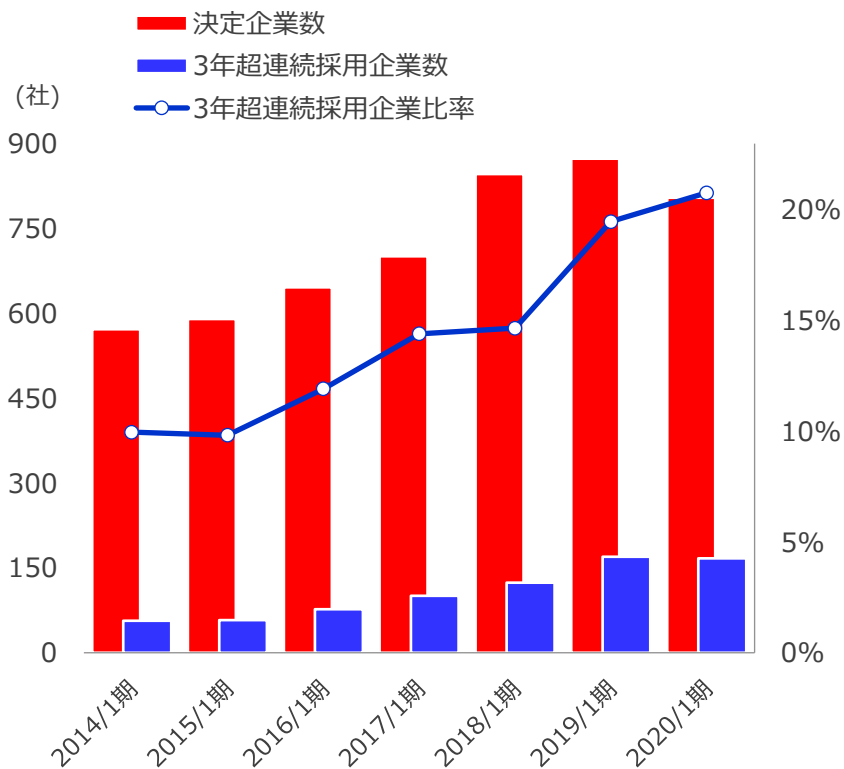


1 社あたり人材紹介報酬の推移

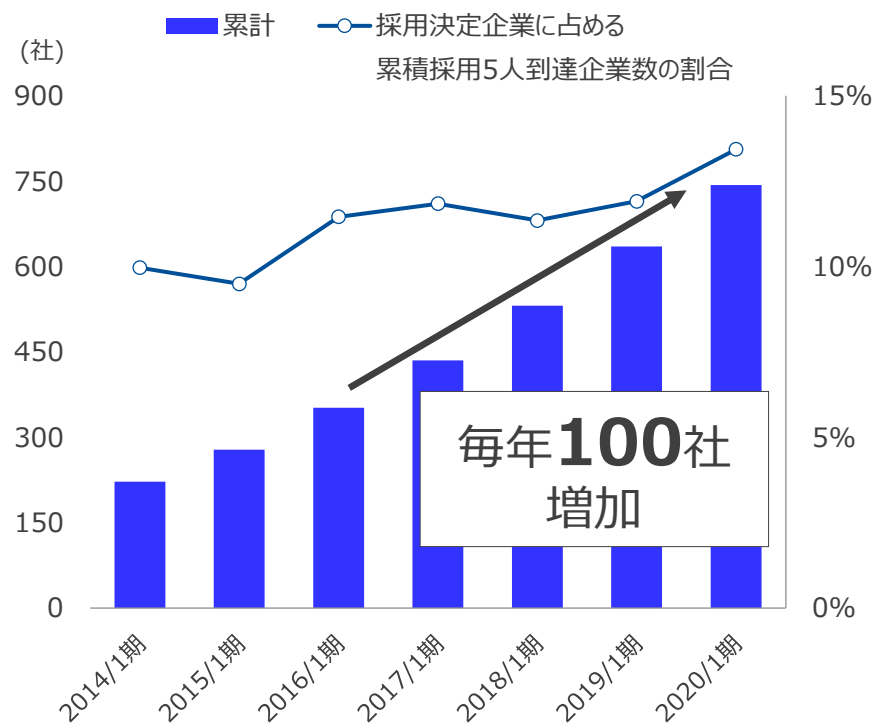


- 3年連続で採用する企業は、割合は高まったが、社数は前期並み
- 一方で採用実績累積5人超の企業は、毎年、約100社ずつ増加し、前期は約750社に
- これらは安心して採用できる紹介元として当社への信頼感を示す指標として重視

連続採用を決める企業数の推移



継続的取引先企業



1. 会社概要

2. 事業内容

3. 決算概要

4. 当社の強みと関連KPI

5. 業績予想と今期の取り組み

6. 新型コロナウイルスへの対応

7. 本資料の取り扱いについて

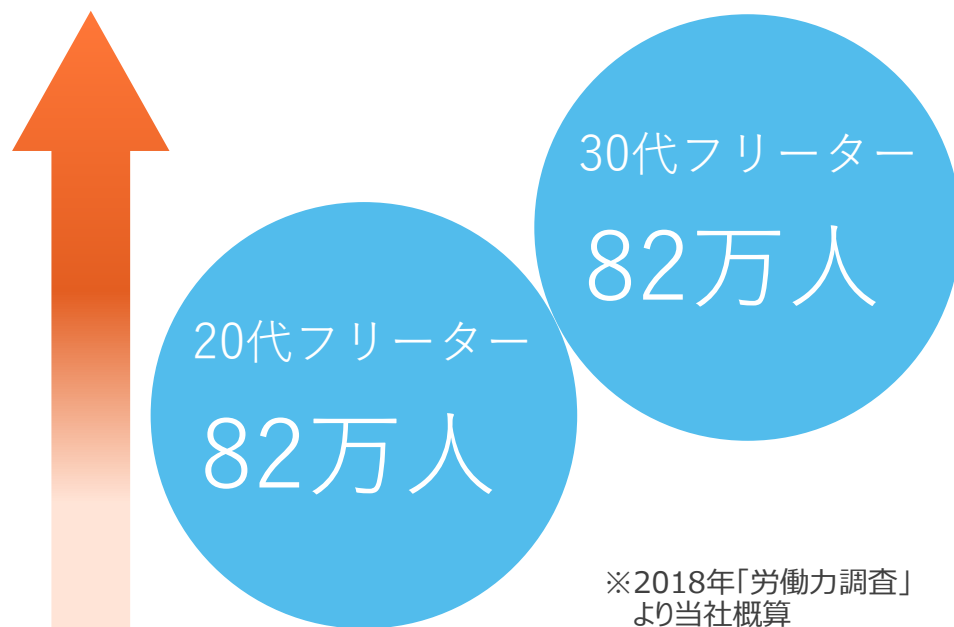
- 2021年1月期は、売上高3,450百万円、経常利益341百万円を予想
- 30代支援、中退者支援を伸ばして売上高アップを図りつつ、熊本のサテライトオフィスに投資。今後の販促効率アップの基盤を整える

(単位：百万円)

	20/1期	21/1期	増減額	前期比
売上高	3,030	3,450	+ 420	+ 13.8%
営業利益	341	344	+ 3	+ 1.0%
経常利益	333	341	+ 8	+ 2.4%
当期純利益	220	224	+ 4	+ 5.1%

- 対象年齢を「34歳まで」から「39歳まで」に拡大。30代特化イベントも13回開催予定
- 30代フリーターの数、20代フリーターとほぼ同数。この層にアプローチし、事業を拡大
- 30代フリーターを支援できるのは、20年以上の教育ノウハウをもつ当社ならではの強み

対象年齢の引き上げにより、
20代フリーターと同数※の30代フリーターにアプローチ



支援対象年齢

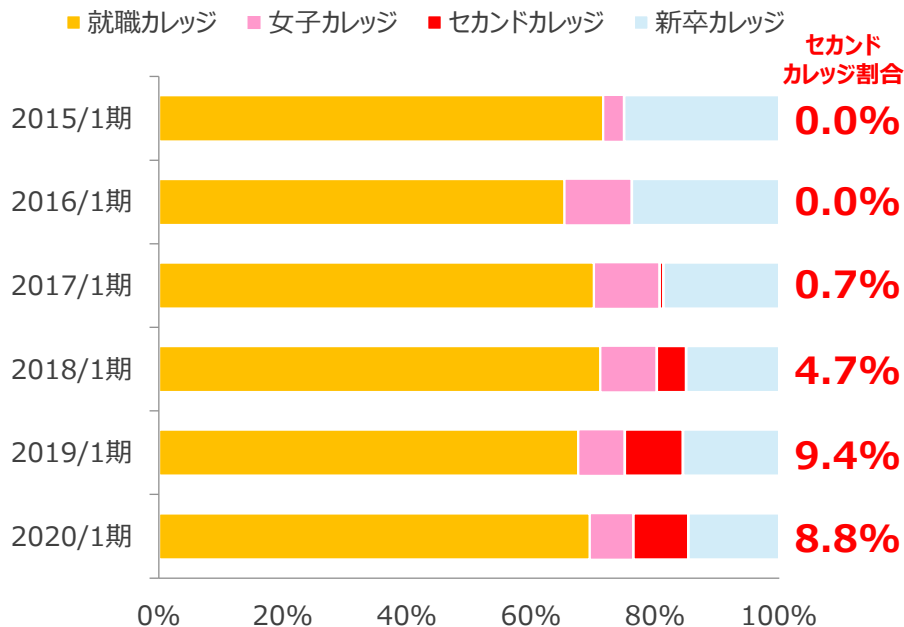
前期	34歳 まで	▶	今期	39歳 まで拡大
----	------------------	---	----	--------------------

30代特化イベント開催数

前期	3回 実施	▶	今期	13回 実施予定
----	-----------------	---	----	--------------------

- 東京で行っていた「セカンドカレッジ」を関西でも展開。今期は15回のイベントを予定
- 雇用創出総数におけるセカンドカレッジ卒業生の割合は、直近2年で約2倍に。これを伸ばす
- 就職成功率は、就職カレッジ81.1%、セカンドカレッジ90.7%と、後者のほうが高い

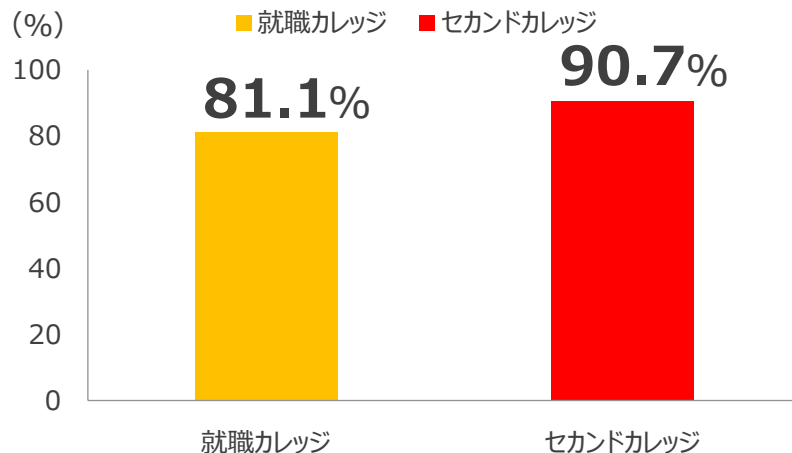
雇用創出総数における セカンドカレッジ卒業生の割合推移



関西での中退者イベント開催回数

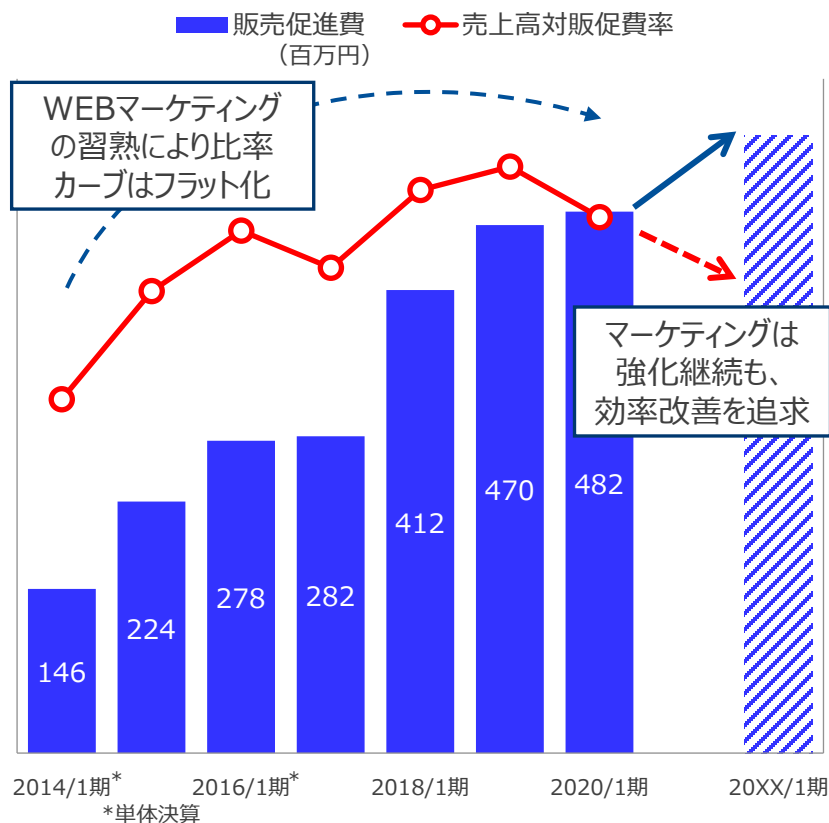


就職カレッジとセカンドカレッジの 就職成功率

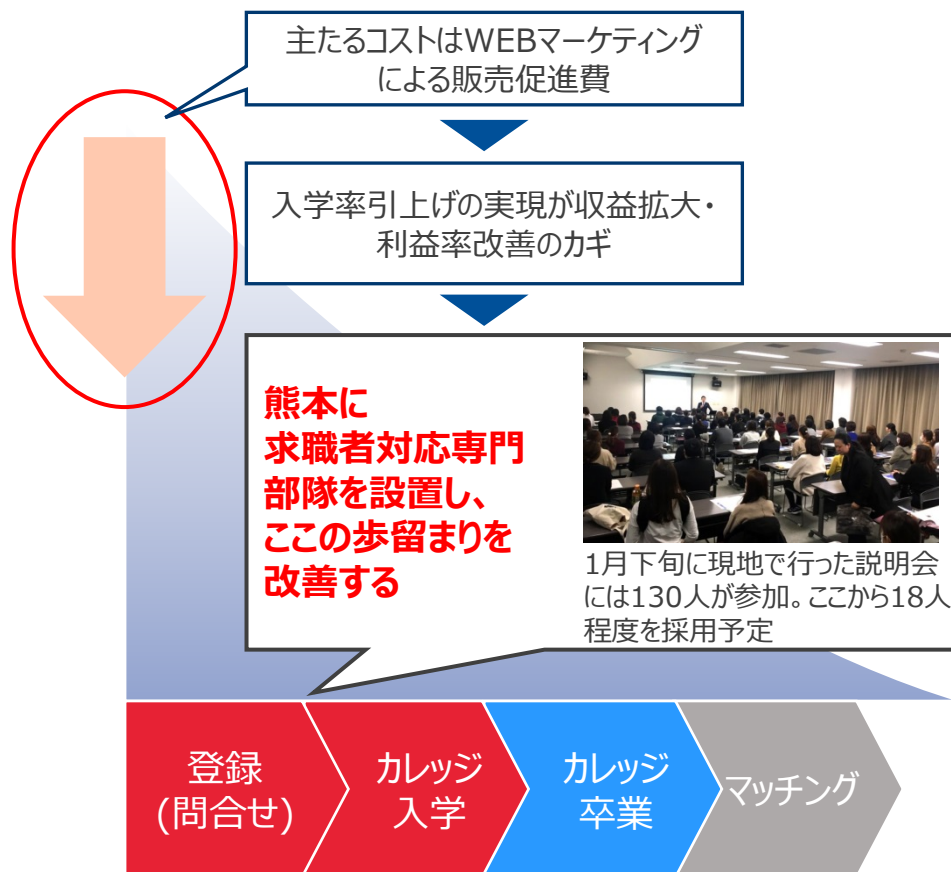


- 現状、入学率（ステップ率）は約10%（3万人の問合せに対し、カレッジ入学は3000人）
- 歩留まりを改善するため、熊本県宇城市にサテライトオフィスを開設。求職者対応専門部隊を設置
- 子育て中の女性や地元の新卒者等を積極採用し、地方創生にも貢献する

販売促進費の推移



当社業務コストのステージ別イメージ



当社は、従来より株主への利益還元の充実を
経営の重要課題のひとつとして位置づけております。

業績の進展等を勘案しながら、継続的かつ安定的な利益還元に努め、
通年ベースの**配当性向を当社単体の当期純利益の30%程度**とする
方針を定め、基本方針としております。

上記基本方針に基づき、
21/1期は1株当たり77円の配当を予定しております。

	20/1期	21/1期
配当性向	26.6%	30.4%
1株あたり配当金（予定）	72円	77円

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 決算概要
4. 当社の強みと関連KPI
5. 業績予想と今期の取り組み
- 6. 新型コロナウイルスへの対応**
7. 本資料の取り扱いについて

- 主力の「カレッジ事業」のイベントは、マスクやアルコール消毒液を配置して継続実施
- 万一の時に備え、「web面談」「web研修」「web面接」が可能な環境を構築中
- 「企業向け教育事業」のセミナーは一部延期するが、影響は軽微

カレッジ事業

対象者等

就職カレッジ®

20代就職苦戦フリーター、第二新卒層

女子カレッジ®

上記の内、女性限定

セカンドカレッジ®

大学中退者

30代カレッジ

30代フリーター

新卒カレッジ®

内定苦戦、部活動や公務員志望等で就活に出遅れた大学4年生

リーダーカレッジ*

採用される求職者の上司となる若手リーダーや次期リーダー層
*「エースカレッジ」(定着・活躍支援等)を含む

教育事業
その他事業

- ① 中堅中小企業向けパッケージ研修
- ② 若手層向け研修講師派遣
- ③ 当社で開催するオープンセミナー
- ④ ジェイックマイツ（上海）

主力のカレッジ事業は
マスク・消毒液等の設置、
Web面談の推奨等に対応。
イベント自体は継続。

緊急時のために
就活研修の動画も制作済。
「会わなくても支援できる」
環境を構築中。

企業向けセミナーの一部を延期。
上海子会社も影響あるが
全体への影響は軽微。

- 一方で、「危機を機会に変える」動きも矢継ぎ早に実施
- オンラインセミナーでは、数日の募集期間で企業150社、学生400名を集客
- 就活／採用の知見を活かし、ツールベンダー等と協業しながら顧客貢献と認知向上を図る

2月28日・3月2日

企業向け

web面接ノウハウ オンラインセミナー

※（株）スタジアム様と共催

大手企業含む
約150社の
人事担当者が視聴

2月28日

報道向け

就活生意識調査リリース（1回目）

3月 2日～

企業向け

特性マッチングサイト「FutureFinder」無償提供

3月 3日

報道向け

就活生意識調査リリース（2回目）

3月 5日

報道向け

企業意識調査リリース

3月 6日

企業向け

LINEによる採用コミュニケーション オンラインセミナー

※（株）Roots様と共催

3月12日

学生向け

web面接対策 オンラインセミナー

告知後2日間で
約400名の学生
が視聴申込

4月 2日・3日予定

企業向け

新入社員研修のライブ配信クラスをリリース

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 決算概要
4. 当社の強みと関連KPI
5. 業績予想と今期の取り組み
6. 新型コロナウイルスへの対応
- 7. 本資料の取り扱いについて**

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 現在、世界的な脅威となっております新型コロナウイルス（COVID-19）につきましても、今後の状況次第では、本資料の記述とは異なる結果を招き得る可能性がございます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。